

学校で流行しやすい学校感染症	出席停止期間
インフルエンザ (鳥インフルエンザ (H5N1) を除く)	発症した後5日 (発症日を0として)、かつ、解熱後 (その日を0日として) 2日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	発症した後5日 (発症日を0として)、かつ、症状が軽快した後 (その日を0にちとして) 1日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
麻疹 (はしか)	解熱した後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳、顎、または舌の下が腫れ出した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
風疹 (3日ばしか)	発疹が消失するまで
水痘 (水ぼうそう)	すべての発疹が痂皮化 (かざぶた) するまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	主要症状消退後2日を経過するまで
溶連菌感染症 手足口病 伝染性紅斑 (りんご病) ヘルパンギーナ マイコプラズマ感染症 感染性胃腸炎 (ノロウイルスなど) 流行性角結膜炎 (はやり目) 急性出血性結膜炎 ウイルス性肝炎 髄膜炎菌性髄膜炎 結核	病状により医師によって感染のおそれがないと認められるまで
※アタマジラミ	出席停止なし登校可能 (タオル、くし、ブラシの共用は避ける)
※伝染性軟属腫 (水いぼ)	出席停止なし登校可能 (多発発疹者はプールでのビート版共用避ける)
※伝染性膿痂疹 (とびひ)	出席停止なし登校可能 (プール、入浴は避ける)